

少数台数のリコール届出の公表について (令和元年10月分)

リコール対象が少数である100台未満の届出について、令和元年10月は10件の届出がありましたので、公表します。

1. 届出者：トヨタ自動車株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作日
10月15日	4588	車名：トヨタ 型式：3BA-DB22 通称名：スープラ	1	令和元年9月6日
不具合の部位等	直列4気筒エンジンにおいて、バランスシャフト軸受の圧入荷重が不足しているため、エンジンの熱や振動により軸受が外れることがある。そのため、異音が発生するとともにエンジンが破損するおそれがある。			

2. 届出者：ビー・エム・ダブリュー株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
10月15日	外 2938	車名：BMW 型式：3BA-5F20 通称名：BMW 320i	56	平成30年8月23日～ 令和元年5月31日
不具合の部位等	直列4気筒エンジンにおいて、バランスシャフト軸受の圧入荷重が不足しているため、エンジンの熱や振動により軸受が外れることがある。そのため、異音が発生するとともにエンジンが破損するおそれがある。			

3. 届出者：三菱自動車工業株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
10月17日	4582	車名：三菱 型式：ZAA-HD4W 通称名：i-MiEV	18	令和元年7月10日～ 令和元年9月2日
不具合の部位等	方向指示器(側面)において、レンズ成形型の管理が不適切なため、正規の協定期間認可番号とは異なる番号がレンズ面に記載されたものがある。そのため、保安基準第41条(方向指示器の基準)に適合しないおそれがある。			

4. 届出者：日立建機株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
10月18日	4586	車名：日立 他 型式：－ 通称名：ZC35C-5 他	3	令和元年7月10日～ 令和元年8月23日
不具合の部位等	ロード・ローラの燃料タンクにおいて、燃料タンクキャップの選定が不適切なため、ブリーザーのないものが取付けられている。そのため、燃料消費によってタンク内に負圧が生じてエンジンへの燃料供給が滞り、エンジン回転が不安定になり、最悪の場合、走行中にエンジンが停止し急制動するおそれがある。			

5. 届出者：BRPジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
10月23日	外 2936	車名：BRP 型式：2FF 通称名：Can-Am Ryker 600	56	平成31年2月27日～ 令和元年5月27日
不具合の部位等	前後のホイールにおいて、ホイールナットの強度が不足しているため、当該ナットに亀裂が生じることがある。そのため、当該ナットの締結力が低下し、最悪の場合、ホイールが外れるおそれがある。			

6. 届出者：いすゞ自動車株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
10月24日	4591	車名：いすゞ 型式：2DG-LV290N3 他 通称名：エルガ 他	31	令和元年7月30日～ 令和元年8月30日
不具合の部位等	バスの統合制御コントローラにおいて、扉挟み込み防止機能の制御プログラムが不適切なため、扉閉作動中にアクセルペダルを踏み込むと、扉挟み込み防止機能が作動を停止し、乗客が扉に挟み込まれるおそれがある。			

7. 届出者：日野自動車株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
10月24日	4592	車名：日野 型式：2DG-KV290N3 他 通称名：日野ブルーリボン 他	4	令和元年7月30日～ 令和元年8月30日
不具合の部位等	バスの統合制御コントローラにおいて、扉挟み込み防止機能の制御プログラムが不適切なため、扉閉作動中にアクセルペダルを踏み込むと、扉挟み込み防止機能が作動を停止し、乗客が扉に挟み込まれるおそれがある。			

8. 届出者：日本トレクス株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
10月25日	4589	車名：トレクス 型式：FCH226AB 他 通称名：－	29	平成27年2月16日～ 平成30年3月9日
不具合の部位等	センターアクスル式フルトレーラにおいて、ドローバとメインレールの接合部の強度設計が不適切なため、当該接合部の強度が不足している。そのため、走行時の負荷により亀裂が生じ、最悪の場合、破断して走行できなくなるおそれがある。			

9. 届出者：日本トレクス株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
10月25日	4590	車名：トレクス 型式：PFV335AH 他 通称名：－	57	平成25年7月24日～ 平成31年3月28日
不具合の部位等	コイル運搬専用セミトレーラのスペアタイヤ取付装置において、シャシフレーム取付部及びハンガブラケット連結部の強度設計が不適切なため、当該部分の強度が不足している。そのため、走行時の負荷により亀裂が生じ、最悪の場合、破断してスペアタイヤ取付装置が脱落し、他の交通の妨げとなるおそれがある。			

10. 届出者：ヤンマーアグリ株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
10月29日	外 2937	車名：ジョンディア 型式：－ 通称名：JD-7290R 他	85	平成24年6月13日～ 平成29年9月11日
不具合の部位等	<p>① 農耕トラクタの前後進ギヤにおいて、部品寸法公差のばらつきにより変速フォークとカラーが干渉するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、変速フォークが摩耗し、最悪の場合、当該フォークが破損して前後進ギヤの切替えができなくなるおそれがある。</p> <p>② 農耕トラクタの変速ギヤにおいて、リングギヤを保持するリテーナーの強度設計が不適切なため、当該リテーナーの強度が不足している。そのため、変速時等の負荷によりリテーナーが損傷し、最悪の場合、ギヤが正しく噛み合わず走行できなくなるおそれがある。</p> <p>③ 農耕トラクタの変速ギヤにおいて、プラネタリキャリアのベアリングの選定が不適切なため、当該ベアリングの強度が不足している。そのため、変速時等の負荷により当該ベアリングが破損し、最悪の場合、ギヤが正しく噛み合わず走行できなくなるおそれがある。</p> <p>④ 農耕トラクタの動力伝達用油圧バルブにおいて、当該バルブの構造が不適切なため、作動油中のごみ等がソレノイドバルブに混入することがある。そのため、ソレノイドバルブが固着して正しく動作せず、最悪の場合、正常に走行できなく</p>			

なるおそれがある。

- ⑤ 農耕トラクタの動力伝達用油圧バルブにおいて、製造工程が不適切なため、バルブハウジングに鑄巣が発生しているものがある。そのため、バルブハウジング内で油が漏れ、最悪の場合、油圧を正しく制御できず、正常に走行できなくなるおそれがある。
- ⑥ 農耕トラクタの静油圧変速機において、油圧を制御するカムの形状が不適切なため、変速時にカム及びピストンが摩耗することがある。そのため、最悪の場合、油圧を正しく制御できず、正常に走行できなくなるおそれがある。
- ⑦ 農耕トラクタの変速ギヤ及び前後進ギヤにおいて、ハウジングアッセンブリとアイドラギヤのベアリングの選定が不適切なため、当該ベアリングの強度が不足している。そのため、変速時等にかかる負荷により当該ベアリングが破損し、最悪の場合、ギヤが正しく噛み合わず、走行できなくなるおそれがある。
- ⑧ 農耕トラクタの変速ギヤにおいて、高速側ギヤのクラッチ部のシールの選定が不適切なため、当該シールの強度が不足している。そのため、走行時等の負荷によりシールが破損し、最悪の場合、油圧が保持できず、高速走行できなくなるおそれがある。

【参考】

●令和元年10月のリコール届出総件数

		内 訳	
		対象数 100 台以上	対象台数 100 台未満
国産車	27(+7)	20(+6)	7(+1)
輸入車	10(-6)	7(-4)	3(-2)
計	37(+1)	27(+2)	10(-1)

※ () 内は、対前年同月比

●リコール届出件数及び対象台数（令和元年度）

<速報値>

	届出件数			対 象 台 数		
	国産車	輸入車	合 計	国産車	輸入車	合 計
4	30(+11)	23(+8)	53(+19)	4,894,225(+4,646,210)	77,234(+67,120)	4,971,459(+4,713,330)
5	11(-5)	18(±0)	29(-5)	95,608(-207,619)	30,418(-49,542)	126,026(-257,161)
6	20(-2)	19(+8)	39(+6)	1,408,643(+1,068,517)	63,757(-78,180)	1,472,400(+990,337)
7	15(±0)	15(-4)	30(-4)	143,548(+102,098)	24,681(-187,850)	168,229(-85,752)
8	13(-1)	13(+2)	26(+1)	221,768(-71,739)	183,262(+125,251)	405,030(+53,512)
9	15(-1)	26(+12)	41(+11)	702,029(-207,931)	100,233(+84,236)	802,262(-123,695)
10	27(+7)	10(-6)	37(+1)	373,783(-929,073)	35,412(-18,548)	409,195(-947,621)
小計	131(+9)	124(+20)	255(+29)	7,839,604(4,400,463)	514,997(-57,513)	8,354,601(4,342,950)

※ () 内は、対前年同月比